

松禪寺報

第 89 号

<https://syozen.com>
<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和 2 年 7 月 25 日

石室山 松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com



お釈迦さまが説かれた伝染病の魔除け呪文

新型コロナウイルス感染者数が、また増えつつあります。「コロナと共に」と、新たな生活様式を考えなければならぬ時代に入っています。

「古来、中国では、疫病などの災難悪事は、一般の人々の目には

見えない悪鬼が引き起こすものと考えられていた。釈尊が賢者阿難尊者に対して疫病封じの対処法を開示した経典である。仏・法・僧の三宝に帰依するとともに、疫病（流行性の伝染病）をもたらすとされる七人の鬼神の名を呼び、こ

れらを退散させることを本来の目的とする。」

この経典が、中国から日本に伝えられた『卻瘟神呪』（却瘟とも表記します）です。疫病を却けるための呪文を説く経典で、七種の鬼神の名を読み上げ、退散させることができるというものです。

「速やかに去れ、いつまでもとどまるな」と念じ、唱えましょう。ただし、酔っ払いには効かないかもしれません。

却瘟神呪

南無仏陀耶

南無僧伽耶

南無諸菩薩摩訶耶

南無呪師

沙羅伽

莫多難鬼

阿佉那鬼

波提犂鬼

南無達磨耶

南無十方諸仏

南無諸聖僧

沙羅伽

阿佉那鬼

波羅尼鬼

阿毘羅鬼

疾去 疾去 莫得久住

【意味】
瘟（疫病み）を却ける神呪

仏に帰依します

法に帰依します

僧に帰依します

十方の諸々の仏がたに帰依します

諸々の菩薩がた 偉大なる菩薩が

たに帰依します

諸々の聖なる僧に帰依します

呪師（行者）に帰依します

追い払いたまえ

追い払いたまえ

追ひ払いたまえ

莫多難鬼 阿佉那鬼 尼佉尸鬼

阿佉那鬼 波羅尼鬼 阿毘羅鬼

波提犂鬼

速やかに去れ 速やかに去れ

（引用『禅門陀羅尼の世界』編著

野口善敬、発行 耕文社）



薬師祭法要 ～ 世界平和と疫病退散を祈りました

毎年恒例の薬師祭（栗尾ふるさと委員会主催）ですが、終息の兆しも見えない新型コロナウイルス感染症のため、今年は餅まきやコンサートなどのイベントを中止いたしました。しかし、法要だけは勤めなければならずと思い、7月12日（日）午前10時より、約15名の参拝のもと住職が執り行いました。

法要は栗尾薬師如来の功德により心身安寧、福寿増長を祈願すると共に、『卻瘟神呪』という疫病退散を祈る際に読経する呪文を参拝者全員で唱え、新型コロナウイルスの速やかな終息を祈りました。

疫病以外にも今年も九州地方を中心に大雨による被害が出てしまい、多くの尊い生命が奪われてしまいました。現地に赴いての具体的な支援はできずとも、ご冥福と一日も早く日常を取り戻していただくことを祈ることも大切です。「明日は我が身」を、忘れてはなりません。

第1回境内掃除に17名参加 ありがとうございました

評議員総会で承認可決された本年度の事業の内、第1回の境内掃除を5月17日（日曜日）、午前8時から約2時間にわたって行いました。今回の参加対象地域は、栗尾村内の上山根、下山根、貝田の評議員より3名、平田区、佐々木区の評議員3名、各隣保から有志5名、総計6名、計17名で草刈りなどを中心に境内の美化に努めました。初夏となつて草もよく伸びており、お陰様で気持ちの良い境内となりました。

第2回の境内掃除は、7月26日（日曜日）午前8時開始です。よろしく願ひいたします。



▲曇り空で暑さも和らぎ、2時間以内ですっきりきれいになりました。

境内四方山話

池の泥あげと枯れ木の伐採

松禪寺の庫裡西側に小さな池が昔からあり、以前は鯉も泳いでいたのですが、サギやイタチなどに襲われていなくなり、今ではカエルとイモリの池になっています。自然に泥や砂が堆積してしまい、浅い池になっていました。前回泥あげしたのはいつだったのか、記憶は定かではありません。

そこで、5 月 30 日（土）に渡辺

富夫さん夫妻、兄夫婦、寺庭と和尚、総勢 6 人で朝から泥上げ作業を行いました。昼食休憩を挟んで午後 3 時頃までかかりました。渡辺さんのポンプを借用して水を抜き、堆積した泥をすくいあげて金属製のバケツに入れ



▲枯れ木の伐採作業＝6 月 10 日



▲全身泥まみれになりながらの作業でした＝5 月 30 日

いただきました。強風で倒れはしないかと心配していましたが、これで安心できます。お世話になりました。

仏教徒の旗印

仏旗について

お盆やお彼岸などの行事のたびに、境内は鐘楼の横の支柱に、仏旗を掲揚していることをご存知かと思えます。仏旗という五色の旗です。これは、「仏教徒としてお釈迦様の教えを守り、仏の道を歩んでいく時の大いなる旗印となるものです。」（全日本仏教会ホームページより）

国際仏

旗は「青・

黄・赤・

白・樺」が、

旧仏旗は

「緑・黄・

赤・白・紫」

の色分け

がされて

います。五

色は仏陀

（お釈迦さ

ま）のから

だを表し、青は頭

（定根）、黄は身体

（金剛）、

赤は血液（精進）、白は歯（清浄）、樺（橙）

は袈裟（忍辱）となっています。

また、それぞれの色には次のような意味が

込められています。

青（定根）とは、煩惱をおさえて悟りに向

かわせる働き。

黄（金剛）とは、確固たる固い意志。

赤（精進）とは、仏道修行に専念すること。

白（清浄）とは、煩惱や罪を清めること。

樺（忍辱）とは、侮辱や苦しみ能耐え忍び、

心を動かさないこと。



施餓鬼会でお渡しする五色旗も、同じ意味合いがあります。仏教行事でお寺に来られたら、風になびく仏旗を眺めて、お参りする気持ちを新たにしていれば幸いです。

お せ が き



8月7日（金曜日）
午前10時より

施餓鬼会は、お釈迦様の十代弟子のお一人、阿難尊者の故事により、飲食供養の功德により亡者を救う行事として起こったものです。「餓鬼に施す」と書きますが、餓鬼とは六道（地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人間道、天道）のひとつで、苦しみの世界であり、食べ物がない飢えの世界なのです。しかも、餓鬼は自分の力で餓鬼世界から抜け出すことができないため、施餓鬼供養がその救いの道とされています。有縁はもとより、無縁の衆生に対しても供養する法要であり、自分自身

令和2年度 施餓鬼会日程

※必ず「目安時間」より早めにお参りください

順番	目安時間	施主（敬称略）	住所
1	10:00	山門施餓鬼、添施餓鬼	
2	10:12	森下 宏治	柴地
3	10:24	山下 正人	清滝
4	10:36	福田 春彦	平田
5	10:48	高橋 悟	寺
6	11:00	酒井 八重子	本城
7	11:12	中村 博信	佐田
8	11:24	渡邊 一義	南尾
9	11:36	鶏魂供養	栗尾

に与えられた生命に感謝する意味合いもあります。また、施餓鬼会はもともと初盆など特定の霊を供養するだけのものではなく、ご先祖様を始め、志す精霊にご供養することによって施主皆様の現世安穩が得られるといわれています。

なお、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「三密」（密閉、密集、密接）を避けるために、一軒一座でお勤めいたしますと共に、できる限り少人数で、必ずマスクを着用してお参りくださいますようお願い申し上げます。

なお、施餓鬼会の日程と今年初盆を迎えられる方は下表のとおりです。

令和2年度 棚経の日程

棚経実施日	地 域
8月8日（土）	（遠方）
8月9日（日）	清滝→本城→柴地→山根→貝田
8月10日（月）	久畑→石原→佐田→大貝→平田→佐々木
8月11日（火）	南尾→出石町（午前）
8月12日（水）	豊岡市→福知山市→岩滝
8月13日（木）	西谷

まもなくお盆を迎えます。お盆は、普段から何も催促なさらないご先祖さまとの語らいの時でもあります。8月13日が迎え火にあたり、16日が送り火です。お墓をきれいに掃除して、ご家庭では仏壇を丹念に掃除して、お花、ろうそく、お線香、果物、お菓子、季節の野菜などを供えます。

お寺からは、8月8日から13日まで、棚経といって各檀家を廻って回向いたします。下表の日程で参る予定ですが、諸般の都合から急遽変更する場合もありますので、あらかじめご了承ください。朝から廻りはじめますが、後半は午後になります。